

## 「授業評価アンケート」への「到達目標達成度」の追加について

## 1. 趣旨

本学における教育の内部質保証<sup>1</sup>の一環として、成績評価だけでなく多方面からの情報を収集するため、シラバス記載の「科目の到達目標(最終目標・中間目標)」を学生自身が達成できたかという項目を「授業評価アンケート」に追加する。

## 2. 実施方法

## (1) 追加する設問

下記のように設問 15 を追加する。回答の選択肢は「強く否定」から「強く肯定」までの 5 段階。

1. アンケート管理記号	11. 教員は授業の開始・終了時間を守り、時間が有効に活用されていましたか。
2. 学籍番号	12. 教員はオフィスアワー等で学生の質問・相談に応じられるよう配慮していましたか。
3. 氏名	13. この授業のために週何時間くらい自習しましたか。
4. 授業内容はシラバスと合っていましたか。	14. この授業におけるあなたの出席率はどのくらいですか。
5. 成績評価の基準は明確に示されていましたか。	15. この授業のシラバスに記載されている「科目の到達目標(最終目標・中間目標)」を、あなたは達成したと思いますか。
6. 質の高い授業内容でしたか。	16. この授業の優れた点は何ですか。
7. 授業内容は理解しやすかったですか。	17. この授業の問題点は何ですか。
8. この授業によって、対象とした分野に興味をひかれましたか。	18. この授業について改善の提案か要望があれば自由に書いてください。
9. 教員の話は聞き取りやすかったですか。	
10. 教員は授業の準備をよくしていましたか。	

<sup>1</sup> 大学改革支援・学位授与機構(2017)。「教育の内部質保証に関するガイドライン」

2. プログラム・レビューの自己点検に含まれることが期待される事項例

## 2.2 主要な点検事項

g) 期待される学修成果を学生が達成しているか。

【根拠となる資料・データ等例】学修の達成度や満足度に関する在学学生や卒業時点の学生の自己評価(アンケート調査やインタビューなど)。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/itaku/\\_icsFiles/afieldfile/2018/02/19/1398412\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/itaku/_icsFiles/afieldfile/2018/02/19/1398412_2.pdf)

## (2) 実施手順

### ① 初回授業日

- (i) 担当教員は、到達目標を含む当該科目のシラバスについて学生に説明する。2024 年度秋学期は、学期末の授業評価アンケートに本設問が追加されることを予告する。
- (ii) シラバスに記載の到達目標が回答しにくいと考えられる場合には、担当教員は「達成度を学生自身が評価できる到達目標」をあらためて学生に説明する。

### ② 最終週の前の授業日

シラバス記載の「到達目標」を教員があらためて学生に提示・解説するか、翌週授業日までに各自確認するよう告知する。

### ③ 最終週の授業日(アンケート実施日)

学内専用サイトのシラバスページ URL(QR コード)が追加記載された紙片を配布する。学生はスマートフォンでシラバスを参照しながら回答する。スマートフォンを所持しない場合、あるいは電波状況が悪い場合には、紙の回答票で回答する。

## (3) 開始時期

2024 年度秋学期から試行として開始。

## (4) その他

非常勤教員に対しては、上記(2)実施方法を、学期が始まる前に事務局からメールで告知する。